

広報

発行日：2016年10月25日

環境カウンセラーちば

第49号
特定非営利活動法人
環境カウンセラー
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
地球温暖化対策、廃棄物対策、水環境問題、環境教育・環境学習、環境経営システムのことなど、
お気軽にご相談下さい。

環境カウンセラー千葉県協議会が、
「うちエコ診断実施機関」に認定されました。

うちエコ診断とは

うちエコ診断とは、家庭における二酸化炭素排出量の削減・抑制を効果的に実現するために環境省が推進している家庭エコ診断制度の一つで、「うちエコ診断士」が環境省の「うちエコ診断ソフト」を用いて、受診家庭とのコミュニケーションを通じて、ご家庭のエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を診断し、そのご家庭に合わせたオーダーメイドの地球温暖化対策を提案します。

家庭エコ診断制度には、民間事業者が環境省の定める診断手法と運用管理の要件を満たして独自に行っている家庭向けエコ診断がありますが、今回 EC 千葉が認定を受けたのは環境省の「うちエコ診断ソフト」を用いる診断です。

うちエコ診断の特徴

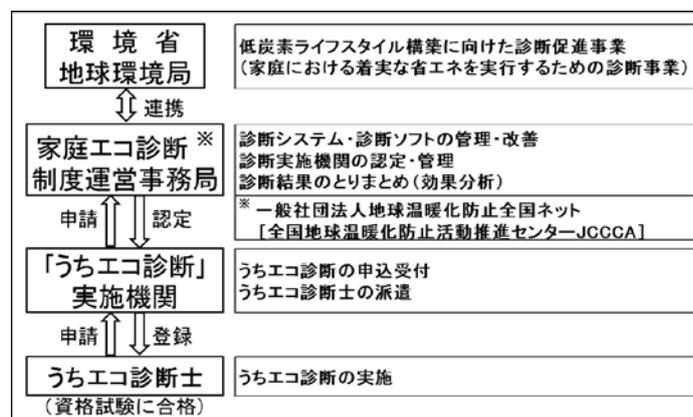
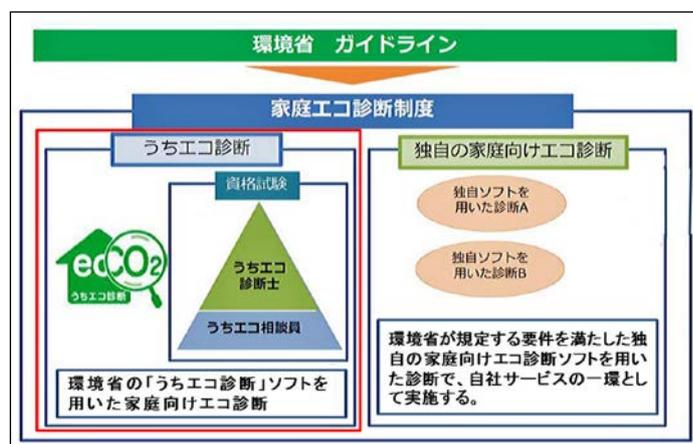
- ①環境省が開発した専用の「うちエコ診断ソフト」を用いて、各家庭の年間エネルギー使用量や二酸化炭素排出量、光熱費を見える化し、その家庭のエコロジー度を判定する。
- ②環境・エネルギーの専門家であり、環境省の認定を受けた「うちエコ診断士」が、受診者と対面で診断を行う。
- ③その家庭の住まいやライフスタイルに合わせた「オーダーメイドの対策」を提案する。
- ④すぐに実行できるように、具体的な情報の提供、対策方法の説明を行う。
- ⑤情報の保護と守秘義務の厳守には体制とシステムの両面から万全を期している。

うちエコ診断の実施体制

(一社)地球温暖化防止全国ネットの JCCGA の中に家庭エコ診断制度事務局が置かれ、うちエコ診断の運営が行われている。ここから認定された「うちエコ診断実施機関」が全国に 81 機関あり、その一つが我々の「うちエコ診断実施機関 EC 千葉ネット」です。

代表：見並理事長
総務担当：橋本総務部長
広報担当：服部事務局長
事業実施管理：吉田環境学習センター長
うちエコ診断士：佐藤環境学習副センター長

を当面の体制として事業活動を開始しました。



うちエコ診断実施機関 EC 千葉ネット <http://ecchiba.sakura.ne.jp>
uchi-eco@ecchiba.sakura.ne.jp

うちエコ診断の実際

うちエコ診断の流れ

① 受診申込

Web で申込フォームに記入・送信するか、または診断実施機関へ直接ご連絡いただく。



② 事前調査

家族構成や住まいの現状・光熱費などの情報を提出。



③ 診断

うちエコ診断士が、「うちエコ診断ソフト」による診断結果をパソコン画面で説明し、それをその場でプリントしてお持ち帰りいただく。



④ 事後調査

受診後約3か月を目途に、ご家庭で取り組んだ対策をアンケートで報告していただく。

受診申込受付中！

- ・診断実施の日時、場所は個別に相談させていただきます。ぜひ、お気軽に受診してみてください。
- ・団体・企業からのグループでの一括お申込みも歓迎します。

うちエコ診断の申込方法

次の URL から Web でお申込みください。
<http://www.uchieco-shindan.go.jp>
 「うちエコ診断の受診申込み」

<問合せ先>

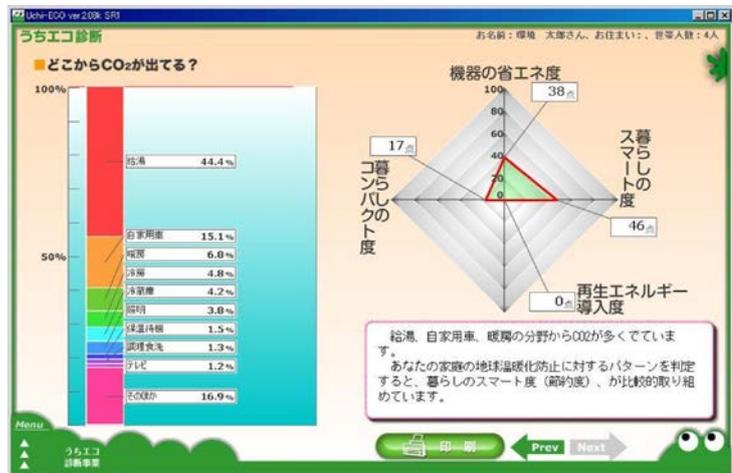
「うちエコ診断実施機関 EC 千葉ネット」
uchi-eco@ecchiba.sakura.ne.jp
 090-4190-6586 (佐藤)

うちエコ診断で分かること

1. エネルギー消費状況の把握 (他の家庭との比較)
 ⇒ お住いの地域でのランキングが分かる。



2. 二酸化炭素の排出内訳の分析 (二酸化炭素排出源の見える化)
 ⇒ どこでエネルギーを使いすぎているかが分かる。



3. 具体的な省エネルギー対策の提案

⇒ 二酸化炭素排出量、光熱費がいくら減るかが分かる。



開催案内

エコ検定試験受験対策講座

第21回「エコ検定試験」(12月18日(日)実施)の受験者向け対策講座の受講者を募集中です。

東京商工会議所主催「エコ検定試験」(環境社会検定試験)は、「環境」に関する基礎力がアップし、企業での環境対策推進や学生の就職対策に役立つと評価され、毎回全国で10万人以上が受験しています。

このエコ検定に必ず合格する、このための受験対策講座をEC千葉が開催します。

eco検定に合格・登録している環境カウンセラー千葉県協議会の講師が懇切・丁寧に指導します。

次の2つの講座を用意しています。

- 1: 個人受験者向けの講座
- 2: 企業内受検対策講座への講師派遣

1. 個人受験者向け講座

開催日

☆集中講座 (一日コース)

10月30日(日)、11月5日(土)
(どちらか都合の良い日をお選び下さい。)

受付開始: 9時15分

講義: 9時30分~16時30分

☆直前講座 (半日コース)

11月27日(土) 13時~16時30分

会場

- (1) 10月30日(日)、11月27日(土)
千葉市民活動支援センター 談話室
千葉市中央区中央2-5-1
千葉中央ツインビル2号館9階

- (2) 11月5日(土)
千葉市生涯学習センター 工芸研修室
千葉市中央区弁天3-7-7

教材 EC千葉特製の副教材を配布します。
(エコ検定公式テキスト改訂版5版(2,600円+税)を購入し、持参して下さい。)

講座内容

☆集中講座

エコ検定の仕組みと受検の注意事項
出題傾向・勉強の仕方と記憶のポイント
重点分野の講義・用語の解説
講座終了後に模擬問題を宿題

☆直前講座

集中講座講義の復習と問題演習

受講料(資料代)

4,000円 (学生 3,000円)
(受講日に受付でお支払下さい。)

申込方法

EC千葉・エコ検定受験対策講座担当宛に
下記のファクス、またはメールでお申込み
ください。

FAX: 043-276-7300

E-Mail: eco-kentei@ecchiba.sakura.ne.jp

2. 企業内受検対策講座への講師派遣

<企業内環境教育に最適>

eco検定合格に向けての勉強は、企業の社会的責任CSR対応や今後の環境ビジネスの展開に向けての従業員の基礎力アップに役立ちます。

ecoピープル(eco検定合格者)となる社員が増えることで、企業のイメージアップにもつながります。エコアクション21やISO14001の認証・取得後の継続的改善のための社員研修とすることで、社員の意識改革や自己啓発に結びつきます。

当講座では、本試験の問題の傾向分析に基づいて、検定試験公式テキストの主要ポイントと過去の出題問題を分かり易く解説します。さらに、模擬問題によって解答の練習を行い、合格できるよう実戦訓練します。

この講座を受講することで、eco検定に合格する準備をしながら、環境活動を進めるのに必要とする基礎知識を体系的に勉強することができます。

開催日 2016年9月~12月

(事業者様ご指定の日時)

コース例 ① 一日コース(9時~17時)
② 半日コース(13時~17時)

会場 事業者様のご指定の場所・会場

教材 特製副教材を配布します。

(エコ検定公式テキスト改訂版5版(2,600円+税)を購入し、持参して下さい。)

料金(資料代) ① 一日コース: 8万円
② 半日コース: 5万円
[別に、交通費(実費)]

問合せ・申込先

環境カウンセラー千葉県協議会・事務局

TEL & FAX: 043-276-7300

E-Mail: ec_chiba_exec@yahoo.co.jp



開催報告

平成28年度 EC 千葉環境学習プログラム
～秋的那須・塩原の自然観察～

1. 観察対象

(1) 那須平成の森

〔天皇陛下の思し召しで、栃木県立博物館による「那須御用邸の動植物相」調査（平成9～13年）の結果、その貴重性が再確認された那須御用邸のうち、優れた自然環境の地域を天皇陛下が「国民と共に分かち合いたい」とのお気持ちで、環境省へ所管換えされ整備開放された地域〕の一部（駒止の滝と自然林の一部）を観察。

(2) 那須火山（茶臼岳）、その周辺の火山現象を観察（ロープウェイ）。

(3) 火山の影響による高山植生、沼原（ヌマツパラ）の湿原植生の観察。

(4) 沼原揚水発電所で水エネルギーの有効利用を見学。夜間の余剰電力で、山麓の深山ダムの水を山上の沼原調整池に揚水・貯水し、昼間のピーク電力時に発電するシステム。「森の発電おはなし館」および発電所を「J-POWER」職員案内。

(5) 塩原溪谷（箒川）の地形・風景美の観察。



2. 行程：

9月26日（月）：

袖ヶ浦バスターミナル — 千葉NTT前 — 海浜幕張駅 — <東北道経由>（那須IC） —
— 昼食：お菓子の城那須ハートランド高原レストラン — 駒止の滝 —
— 那須平成の森フィールドセンター — 殺生石 — 那須ロープウェイ — 休暇村那須（泊）

9月27日（火）：

休暇村那須 — 沼原湿原・沼原調整池 — 電源開発（株）森の発電おはなし館・沼原発電所 —
— 昼食：アグリパル塩原 — 塩原溪谷 — 回顧の吊橋・回顧の滝 — 千本松牧場 —
— <東北道経由> — 海浜幕張駅 — 千葉NTT前 — 袖ヶ浦バスターミナル

(環境学習センター副センター長 渡辺忠明)

EC千葉環境学習プログラム
～秋的那須・塩原自然観察～

小西 由起

9月26日、秋晴れの中自然観察へ25名で出発しました。

初めに向かったのは駒止めの瀧です。那須御用邸の自然林の一部として整備開放された地域です。

渡辺さんの丁寧なガイドの下、アキノキリンソウ、ゴヨウツツジ、ミツバツツジ、マツツジという3種類のツツジやウバユリを見る事が出来ました。また、「那須平成の森フィールドセンター」では職員の方の説明で開園の経緯を知る事もできました。

続いて向かったのは、狐が化身した伝説の残る奇岩、史跡の殺生石です。硫黄の香りが強くゴツゴツとした大きな岩が印象的でした。しかし、残念ながら殺生石の近くの鹿の湯には入浴する事が出来ませんでした。

初日の最後は那須ロープウェイでしたが、タイミング悪く悪天候で頂上から那須火山群を見る事が出来ず、ロープウェイ乗り場より宿泊先の休暇村に向かいました。でも、休暇村では、地元野菜をふんだんに使用した美味しい食事と天然温泉を堪能しました。

初日の疲れを癒した2日目、沼原湿原に向かい木道を探索したあと、続いて沼原発電所にて揚水発電についての説明があり、沼原調整池（上池）と深山湖（下池）の揚水発電の仕組みを勉強する事ができました。那須塩原の土地を上手く利用した発電所だなと感じました。

昼食はアグリパル塩原にて美味しいお蕎麦をいただき、塩原溪谷では見かえりの滝をみましました。その

滝に行くまでには吊り橋もあり、マイナスイオンをたっぷり浴びる事もできました。

2日目の最後は那須牧場でした。ここでは美味しい牛乳とソフトクリームをいただきました。

この二日間をとおし、自然の大切さを改めて感じ、今後、この素晴らしい自然をどのように残していくかを、現代の私たちが真剣に考えなくていけないと思いました。

地球温暖化や人口増加と問題は山積みですが、自分に出来る事をしていきます。

とても勉強になった2日間、ありがとうございました。参加出来て感謝しています。(以上)

秋的那須・塩原の自然観察について

松戸むら 岡野 恒雄

9月26日 今回の自然観察ルートを調査し案内書を作成いただき、また、車内での案内説明も楽しくユーモアいっぱいでありありがとうございました。

バスは渋滞もなく、昼食はお菓子の城～那須ハートランド高原レストラン～殺生石～花が咲いたような石灯籠、那須火山(茶臼岳)、周辺の火山現象を観察、そして、小雨降る中の短い時間でしたが那須ロープウェイにて山頂への散策。

夜は休暇村那須の豪華な食事、那須の夜の二次会、反省会は幹事の部屋で。今回までの思い出を綴った映写会(S24年7月一蔵王・出羽三山・月山・湯殿山・羽黒山・山寺・立石寺、更にS25年尾瀬沼散策・その他)で楽しいひと時を過ごしました。

9月27日 前日とうって変わった晴天、ゆうべの飲みすぎをバスに揺られ解消、沼原湿原・沼原調整池までのアップダウン続きの2キロの道のり。遅れる人も出たが先頭の方はマイペース、ついにダウンしそうな方があり後押しをしながら頑張って最後までたどり着いた状態、もう少し皆さんのことを考えて時間を取って貰いたかった。

沼原発電所、電源発電所(電源開発株式会社)、「揚水発電の仕組み」電気の消費は一日中同じではなく時間によって大きく変化する事。例えば、工場が生産に入ってビルの照明が付き冷暖房が動く昼間は消費量がグンと上がり、逆に夜間は昼間の半分以下にさがる。

電気を使わない時間帯は、この電力を使って深山湖(下池)の水をポンプでくみ上げ沼原調整池(上池)に貯水しておき、電気を多く使用する昼間には逆にこの水を落として発電するのが揚水発電。

「地下発電所」 発電所は地下式で長さ131m、幅22m、高さ45.4mの地中に空洞を掘削、発電設備や変電設備を収容しています。可逆式ポンプ水車は発電時には水車及び発電機として働き、揚水時にはポンプ及び電動機として働きます。

500mを超える落差、大容量ポンプ水車としては世界で最初に開発されたものです。

電源開発(株)所長や所員のご案内により、構内(空洞)131m 先の発電設備・変電設備の圧力計やリレー、発電機の大きさや用途などの説明をしてもらいました。

深山湖(下池)からの農業、上水道、県営発電用の多目的ダムでの放水を見たかった。

旧制御室には写真が展示してありました。見学にみえられた昭和天皇 皇后陛下、発電機のロータと水車ランナー ほか。 着工 昭和44年12月 ～ 運転開始 昭和48年6月

遠方制御の沼原発電所は、揚水並びに発電時には埼玉県川越市にある東地域制御所より、マイクロ回線を通じて遠方監視制御をしています。

私が社会人になって数年後の思い出のひとつが、この発電機装置を思い出しました。



開催報告

平成28年度県内自然観察会

(環境学習センターと生物多様性研究会共催)

1. 日時 平成28年度4月24日(日)
2. 場所 鎌ヶ谷市栗野地区公園
3. 参加 9名(女性4名、男性5名)

快晴のもと、「新緑の美しい里山(雑木林)でキンラン等を楽しみ、絶妙な自然の仕組みを学びましょう」のキャッチフレーズで行いました。

今年は、春の訪れが早く、コナラの銀色の芽吹きは終わり、でも鮮やかな新緑の林を散策しながら、黄金色に輝くキンラン(レッドリスト、絶滅危惧Ⅱ類)や、葉の真中に花を咲かすハナイカダの不思議さ(花の茎が葉脈化)を楽しみました。

北総台地は、植物の水平分布では暖温帯で、本来、シイ・カシ等の常緑広葉樹林となるものが、縄文時代には焼畑、農耕時代～現代は堆肥用の下草刈りと20～30年毎の薪炭用伐採等の人為により、地球が寒冷な時代のコナラ・クヌギ等の冷温帯落葉広葉樹とそれに依拠する草花(キンランはコナラの菌根菌と共生)が遺存的的に残ってきた様子や太陽の光を有効利用する多層な森林の仕組みを楽しく観察しました。

人と自然の関りの所産、里山から持続可能な社会、循環型社会について学ぶきっかけを把みました。

散策、観察の後、ベンチに腰掛け、日本の自然環境行政と自然の学術的研究が長く原生的自然の保護に傾注せざるを得ず、人為が加わることで保全される二次的自然、里地里山の保全に取り掛かるのが遅れてしまった歴史とその背景、そして薪炭に替り、石炭・石油等の燃料革命、化学肥料の発達により、人の手が加わらず、荒廃してゆく里地里山の保全の難しさに想いを寄せ散会致しました。

(環境学習センター副センター長 渡辺忠明)

自然(里山)観察会の開催報告

～新緑の美しい里山でキンラン等を楽しみ、絶妙な自然の仕組みを学びましょう～を合言葉に、環境学習センター・生物多様性研究会合同で「鎌ヶ谷市栗野地区公園」の自然(里山)観察会が開催されました。

・日時：平成28年4月24日(日)13:00～15:30

・参加者：10名

・渡辺(講師)、見並、橋本、服部、戸村、中川、佐藤(素)、小西、佐藤(ミ)、志澤

前日までの雨も上がり、観察会の時刻には薄日が射し、暑からず寒からずの日和でした。

鎌ヶ谷市公園緑地課発行の地図を片手に南口から栗野地区公園の里山に入り、すぐに今回目当てのキンラン(環境省レッド・リスト、絶滅危惧Ⅱ類)を見つけました。

キンランの生育にはコナラの菌根菌(キンコンキン)が必要との説明を講師の渡辺さんより受けながら、ゆっくりと里山の散策を楽しみました。

中央出口付近では、渡辺さんより北総台地の植物分布・冷温帯・山地帯の落葉広葉樹林の話、里山の重要性、カタクリを例に遺存種であることの確認と適応戦略、里山の森林生態系の観察、我が国における自然環境保全に係わる学術的研究と行政の流れ等・・・大変有意義な話を聞くことができました。

今回観察できた主な植物は、前述のキンランほか、ホウチャクソウ、ハナイカダ、タチツボスミレ、カンアオイなどでした。

なお、出口付近では貴重な一株のギンランが私たちを見送ってくれました。

(志澤達司)



キンランの花

環境イベントへの参加

船橋市「第19回 ふなばし環境フェア」に参加

テーマ：「環境フェア！ 来て、見て、触れて、エコ活動」

2016年6月11日（土）10時～16時、船橋市中央公民館

（主催者速報来訪者数 延べ約5,000人）

EC千葉は、待ったなしの気象変動と地球温暖化のアピールを行いました。

「二酸化炭素（炭酸ガス）ってなに？」—二酸化炭素を理解してもらうために、二酸化炭素の見える化として、固体ドライアイス、小さな二酸化炭素カートリッジ（液化炭酸ガス）、炭酸水を展示しました。

さらに、排ガス測定用ガス分析計（PG250A）によって、展示場内空気の組成（酸素：約20.4%、二酸化炭素：約0.12%）が、風船に吹き込んだ自分の息ではどう変わっていくかを体験してもらいました。

酸素濃度が下がり、二酸化炭素の濃度は上がる様子がデジタル表示され、ある子の例では、呼気では二酸化炭素：5.90%、酸素：13.02%でした。そして、風船を外すとまた元の展示場の空気組成に戻ります。

（見並勝佳）



鎌ヶ谷市「第8回かまがや環境フェア」に出展

フェアは、「集まれ！～こども広場～今わたしたちにできること」をテーマに10月4日から13日まで開催されました。EC千葉は、活動案内ポスター、エコ検定講座案内、うちエコ診断事業等を展示しました。また南相馬市在住のECU元副理事長の長澤利枝さんの、平成23年8月からの定点観測的活動・福島県除染作業の放射性廃棄物の問題を展示しました。

展示期間中の8日（土）は市役所ホールで、自分の吐く息の二酸化炭素濃度測定イベントを開催しました。「吐く息から地球温暖化を考える」をテーマに、二酸化炭素をより身近に理解して貰おうとの主旨です。室内空気の酸素と炭酸ガス濃度が、フウセンに溜めた自分の息ではどのように変化するかをリアルタイムで測定します。測定結果を自分で記入、「こども環境白書」のリーフレットとともに持ち帰る参加型イベントです。

当日は、鎌ヶ谷市民まつりの日で、4回目となる相馬野馬追から騎馬武者12騎の行進もあり、市外からも多くの参加者がありました。小雨が交じりの天候でしたが、騎馬武者効果もあり、当日はフェア展示会場へ約1000人、我々のブースで吐く息測定をしたのは子どもを中心に約40名とかなりの忙しさでした。また、福島県のECである長澤利枝さんも参加され、当協議会からは8名の方がブースや展示を手伝いました。（倉田智子）



「第21回のエコメッセ 2016 in ちば」

例年と同じに千葉市幕張メッセ国際会議場において、9月22日（木・祝）開催された。天気がよくなかったのが、例年より少なく総数約8,500人の入場者数であった。

EC千葉は、活動紹介ポスターの展示と緑のカーテン用種子の配布（約500袋）を行った

今回の参加の中心を「うちエコ診断」に置き、診断コーナーを設け、診断を実施した。会場正面の「エコステージ」からうちエコ診断を紹介し、受診を呼び掛けた。



地球温暖化対策において期待される 環境マネジメントシステム (1)

1. 環境マネジメントシステム (Environmental Management System : EMS)

環境マネジメントシステムは、組織や事業者等が自主的な環境保全への取り組みを継続的に行うための「しくみ」のことで、国際標準化機構（ISO）が定めた国際的な規格として「ISO 14001」があり、エコアクション21は、「ISO 14001」を参考に、中小企業を主な対象とした「しくみ」として環境省が策定したものです。

環境マネジメントシステムには、ISO 14001、エコアクション21の他にも、地方自治体、NPO、中間法人等が策定したものがああります。

2. 地球温暖化対策において期待される環境マネジメントシステム

新たな国際枠組み「パリ協定」が本年11月に発効し、地球温暖化対策の新時代を迎えることになりました。

我が国では本年5月に「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、これを受けて各地方自治体が地域における実行計画を策定し、新たな目標のもとで対策を展開しているところです。

私たちは個人も事業者もそれぞれの立場でこれまで以上に環境に配慮し、二酸化炭素の排出削減に取り組んでゆくことが求められます。

この「地球温暖化対策計画」においては、具体策の一つとして自治体や事業者の環境への取り組みの実効性を高めるツールとして環境マネジメントシステムの一層の普及が明記され、エコアクション21が中小企業向けの施策として位置付けられました。

また、地方公共団体に関しても、構築すべき体制の例としてエコアクション21が記載されました。

☆地球温暖化対策計画 第3章 目標達成のための対策・施策 第2節 地球温暖化対策・施策 2. 分野横断的な施策 (2) その他の関連する分野横断的な施策 (d) 事業活動における環境への配慮の促進)

『ISO 14001 や中堅・中小企業向けエコアクション21 など PDCA サイクルを備えた環境マネジメントシステムの普及を進め、環境経営の実効性を高めていくとともに、企業における従業員の教育を促すことで、事業活動における更なる環境配慮の促進を図る。』

☆同 第4節 地方公共団体が講ずべき措置等に関する基本的事項 1. PDCA を伴った温室効果ガス排出削減の率先実行)

『都道府県及び市町村は、率先して自らの温室効果ガス排出の抑制に取り組むべきである。その際には、原則として全ての事務及び事業を対象として、温室効果ガス排出の抑制に係る取組のPDCAの体制を構築し、運営するべきである。』

3. エコアクション21

エコアクション21は、環境省が策定した環境マネジメントシステムで、一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者が環境保全への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。

エコアクション21は、あらゆる事業者が効果的・効率的・継続的に環境に取り組んでいただけるよう、

①中小の事業者でも容易に取り組める、②環境配慮に必要な取組がわかる、③環境コミュニケーションを実現できる、といった特徴を持っています。

エコアクション21 認証・登録制度



地球温暖化対策として期待される 環境マネジメントシステム (2)

4. 環境カウンセラー千葉県協議会の取り組みー『EMS支援センター』

環境マネジメントシステム支援センター（略称：EMS支援センター）は、環境経営に取り組む企業や組織に対して実地的な支援をきめ細かに行うことを目的として、平成11年に内部プロジェクト組織として設置し、今年で17年目になります。

ISO14001審査員資格保持者、エコアクション2.1審査人が中心となって、中小事業者様の「環境経営への取組み」、「環境マネジメントシステムの構築」のお手伝い・ご支援を行っております。

ISO14001・ISO9001 関係

- ☆ 環境経営システムを主題とする「企業環境セミナー」の開催
- ☆ ISO14001に関する各種セミナーへの講師派遣
- ☆ ISO14001認証・取得と継続的改善の支援
- ☆ ISO14001およびISO9001内部監査員養成講座の開催

エコアクション2.1 (EA21) 関係

- ☆ EA21普及セミナーの開催
- ☆ EA21普及プログラム、各種セミナーへの講師派遣
- ☆ EA21への取組み、認証・登録と更新のコンサルティング

<<主な活動>>

- ・エコアクション2.1認証・登録の支援（随時）
- ・エコアクション2.1普及セミナー（毎年1回；H28.7.22 千葉商工会議所）
- ・エコアクション2.1個別相談会（毎月第2水曜日、千葉県環境財団(EA21地域事務局)）
- ・企業環境セミナーの開催（第18回：H28.10.28 千葉商工会議所）
- ・内部監査員養成講座（H28.6～10；ISO9001×2回、ISO14001×2回）

開催案内

第19回企業環境セミナー

<環境マネジメントシステム規格の改正と企業の対応>

地球環境問題、とりわけ気候変動対応（地球温暖化対策・対応）は厳しさを増しており、世界中の人々が今まさに自分の問題として取り組むことを求められています。環境マネジメントシステム(EMS)に取り組む企業にとっては、一層効果的な活動を求められていると言えるでしょう。

そこで今回は、昨年改訂されたISO14001(2015)への対応の講演とともに、事業活動(本業)が環境活動と密接な2社(エネルギー供給・資源循環)に講演を行なっていただきます。

開催日時 平成28年10月28日(金) 13:00～17:00 (12:30開場)
 会場 千葉商工会議所 14階第1ホール
 参加費 1,000円(当日、受付にてお支払下さい。)
 主催 千葉商工会議所、NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会

第1部 講演

「ISO14001(2015)改訂に伴う登録組織の対応」(株)パデセア代表取締役 黒柳 要次 氏

第2部 事業者からの講演

(1)「東京ガスグループの環境への取組み」

東京ガス(株)環境部 環境推進グループ 担当課長 横山 典子 氏

(2)「プラスチックのマテリアルリサイクル」

エム・エヌ・プラスチック(株)代表取締役社長 森村 努 氏

第3部 環境カウンセラー千葉県協議会の取組み紹介 (EMS事務局の方へ)

開催報告

エコアクション21普及セミナー

中小事業者の経営に役立つ環境経営システム説明会

開催期日：2016年7月22日（金）13:00～17:00

開催場所：千葉商工会議所 14階 第2ホール

参加者数：47人

千葉商工会議所、エコアクション21地域事務局千葉県環境財団、およびNPO法人環境カウンセラー千葉県協議会との共催により、エコアクション21（略称EA21）普及セミナーを開催した。

最初に環境カウンセラー千葉県協議会の見並理事長から、地球温暖化は国際的には気候変動と言われております。IPCCの報告書等では、適応策という言葉が多く使われるようになりましたが、EA21による緩和策も地道に取り組みましようとの主催者挨拶があった。

基調講演では、千葉県環境生活部 循環型社会推進課 副技監 江利角晃也氏より「循環型社会と法令管理」というテーマで、法制度の歴史と体系、最近の不適正事案、そして、廃棄物そのものの考え方についての講演と、千葉県の取組“ちばエコスタイル”の紹介があった。

引き続き、環境カウンセラー千葉県協議会・橋本正氏より環境法改正と実践的の法令管理についての講演があった。

次に「EA21への取組成果の事例紹介」として、ガレージ藤枝 藤枝栄一氏（発表代行：EMS支援センター長 宮田 勉）および有限会社四季コーポレーション 常務取締役 高橋正樹氏、収集運搬部課長 武藤晋司氏より自社の事業に即したエコアクション21活動の報告があった。2名、あるいは8名と小規模な事業者の事例であったが、自力で取り組む、大変参考になる事例紹介であった。

最後に EA21 地域事務局千葉県環境財団の服部達雄氏より「地球温暖化対策に期待されるエコアクション21」と題しての講演があった。（宮田 勉 EMS支援センター長）

エコアクション21普及セミナー

中小事業者の経営に役立つ

環境経営システム説明会



開催日時：平成28年7月22日（金）13:00～17:00

会場：千葉商工会議所 14階 第2ホール

参加費：1,000円 定員：90名（先着順） 開場：12:30

対象者：環境経営に関心のある事業者、認証取得事業者

エコアクション21認証・登録制度は、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的・効率的に行えるよう環境省が策定したガイドラインに基づき、省エネルギー・二酸化炭素の排出抑制・廃棄物の削減などに目標を設定して具体的に取り組んでいる事業者を審査し、認証・登録する制度です。ISO14001と比較して、取り組み易く、審査・登録の費用が安いなどの特長があり、中小事業者に適した環境経営システムです。地球温暖化をはじめとして、環境に対する事業者の責務がますます大きくなってきており、環境リスクをなくし、環境コストを削減し、事業の発展を図るうえで環境経営システムは有効なツールとなります。

このセミナーでは、事例発表を中心にエコアクション21を紹介し、これから環境経営システムを導入しようとしている事業者だけでなく、すでにエコアクション21を認証・登録されている事業者様のブラッシュアップに役立つ内容を目指しました。皆さまのご出席をお待ちしております。

プログラム

開会挨拶	13:00～13:10
第1部 講演	
1. 基調講演 循環型社会と法令管理	13:10～13:40
江利角 晃也 氏（千葉県 環境生活部 循環型社会推進課 副技監）	
2. 講演1 環境法改正と実践的の法令管理	13:40～14:10
橋本 正 氏（橋本環境安全コンサルティング代表、NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会理事）	
3. 事例紹介 エコアクション21に取り組んでの成果	
(1) 新千葉建設 株式会社 代表取締役 菊地政廣氏、総務部 渡邊みち氏	14:10～14:40
(2) 有限会社 四季コーポレーション 代表取締役 立原 誠 氏、常務取締役 高橋正樹氏	15:10～15:40
— 休憩 —	
4. 講演2 地球温暖化対策に期待されるエコアクション21	15:50～16:30
服部 達雄 氏（千葉県環境財団 EA21 地域事務局員、NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会事務局長）	
5. 講演内容に対する質疑応答	16:30～16:40
第2部 個別なんでも相談	16:40～17:00
新たに取組まれない事業者、認証取得後の維持に関してお困りのこと、なんでも、申込書下部の欄にご記入ください。審査人が個別にご相談に応じます。	

主催 エコアクション21地域事務局千葉県環境財団、千葉商工会議所
NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会
後援 千葉県・千葉市・一般社団法人千葉県商工会議所連合会・千葉県商工会連合会
一般社団法人千葉県経営者協会・千葉県中小企業団体中央会・千葉県中小企業家同友会
一般社団法人千葉県環境保全協議会・一般社団法人千葉県産業廃棄物協会
一般社団法人千葉県建設業協会・千葉県建設業協同組合連合会・千葉県解体工事業協同組合
協力 一般財団法人持続性推進機構エコアクション21中央事務局

循環型社会と法令管理 (エコアクション21普及セミナー)

平成28年7月22日
千葉県環境生活部循環型社会推進課
江利角 晃也



千葉県環境生活部・江利角 晃也氏

1. 研修会の目的

地球温暖化対策の新たな国際協定「パリ協定」を受けて、国を挙げて温室効果ガスの抜本的な削減に取り組むことが必須となり、環境カウンセラーにはこれまで以上に地球温暖化問題についての市民等への啓発、および国・地方自治体の地球温暖化施策の推進への協力が期待されている。

これらの活動を進める際の前提は、地球温暖化現象の現実・真実を正しく理解しておくことである。最近の異常気象の頻発と地球温暖化の関連を理解する上でのポイントは「海」にあり、今や海洋と気象のこと知らずして地球温暖化は語れないと言っても過言ではない。

そこで、今回の秋季研修会では、海洋と気象の専門家を招き、地球温暖化現象の真実に迫る講演をしていただいた。

2. 開催日時：平成27年11月14日（土）10：00～15：00

午前：講師の講演、午後：講師との質疑応答および参加者によるディスカッション

3. 開催場所：千葉県教育会館

4. 講師：東京管区気象台海洋情報調整官 片山恭男氏

5. 講演要旨：「地球温暖化問題の現実・真実を学ぶ」

① 海洋の基礎知識

水循環・炭素循環・熱容量
二酸化炭素の吸収と放出

② 地球温暖化に伴う海洋の変化

海水温の上昇・海面水位の上昇
海洋の酸性化・海氷の変動

③ 海洋の温暖化と大雨増加の関係

④ 黒潮の蛇行とその影響

⑤ 気候変動に伴う災害リスクの増大

5. 参考情報

1) 気象庁「海洋の健康診断表」

地球温暖化の現実、真実を学ぶための「海洋と気象」についての情報源として講師から教わりました。気象庁ホームページからアクセスしてください。

2) 参考書：鬼頭昭雄「異常気象と地球温暖化」（岩波新書）

事業部長・地球温暖化対策センター長
橋本 正

種本利治さんが ECU 理事長功績表彰を受けられました。

2016年6月24日に開催された ECU 総会に続いて「2016年度 ECU 理事長表彰式」があり、EC 千葉から種本利治さんが環境保全功労者として表彰を受けられました。種本さんは2004年に当協議会に入会し、2005年より理事として、会計担当、環境学習センター長および EMS 支援センター長、さらに副理事長として当協議会の活動を推進され、当協議会の発展にご尽力をいただきました。

種本さんからのメッセージ

皆様ご無沙汰しています。種本利治です。

この度、環境カウンセラー千葉県協議会のご推薦により環境カウンセラー全国連合会理事長から環境保全功労者の表彰を受けさせていただきました。

これもひとえに EC 千葉会員の皆様のご指導ご支援を頂きながら環境保全活動を今日まで13年にわたって継続できたためです。皆様に心から御礼申し上げます。

表彰式は6月24日開催の ECU 総会で行われましたが、当日の総会議事も大変勉強になりました。ECU は ESD、EMS、SDGs など幅広い分野で積極的な活動を展開しています。

皆さん、EC 千葉ホームページのリンク先にある ECU ホームページを時々覗かれたら如何でしょうか。



ECU 佐々木理事長(右)から表彰状を授与される。

環境カウンセラー全国連合会

創立15周年記念の集い

日時 平成28年9月10日(土) 13:30～16:00
 場所 エレッサム神田ホール1号館
 次第 1. 来賓祝辞 2. 記念講演 3. 表彰式

本年が環境カウンセラー制度創立20周年の年となり、そして環境カウンセラー全国連合会 ECU が設立15周年を迎えたことから、その記念の集いが9月10日に開催され、全国の環境カウンセラー協会・協議会から約80名が出席した。

山本公一環境大臣からの祝辞を永見靖環境省環境教育推進室長が代読され、斉藤鉄夫元環境大臣をはじめ多くの方から祝電が寄せられた。

記念講演においては、古里明瑠副理事長が「ECU15年の歩み」を総括報告され、佐々木進市理事長が「ECUのこれから」と題して今後のECU活動への方向を述べられた。

表彰式においては、ECUの設立から今日までの活動を支えてこられた方々、およびECUの土台である全国のEC協(議)会の活動を推進されてきた方々を佐々木理事長が表彰された。

ECU 創立15周年記念顕彰

(EC千葉の方のみ氏名を記す。)

1. 顕彰状 土田茂通氏、國廣隆紀氏
(ECU設立時に役員として基礎を築かれた方々、12名)
2. 特別感謝状 (草創期の全国組織化に貢献された方々、8名)
3. 炭谷賞 小角 浩氏、戸村 泰氏
(炭谷茂名誉顧問の瑞宝重光賞の受賞を記念して設けられた賞で、本年度からの贈呈、11名)
4. 特別表彰状 倉田智子氏、笹木勝利氏、種本利治氏、辻川 毅氏、服部達雄氏、古畑義正氏、
本間 格氏、茂利 晃氏

(所属の協(議)会の役員として各地の活動を展開され、環境カウンセラー制度を担い顕著な成果をあげられた方々、53名)

なお、これから発行される「15年記念誌」に受賞者の集合写真が掲載される予定。

特定非営利活動法人 環境カウンセラー全国連合会 <http://www.minnanoecu.com/>

平成28年度浄化槽講習会

～上手に使おう！浄化槽～

1. 平成28年11月13日(日) 10:00～12:00
銚子市勤労コミュニティセンター 2階【ホール】
 2. 平成28年11月26日(土) 10:00～12:00
木更津市中央公民館 3階第1・2会議室
- ☆お近くの方々の参加をお待ちしております。

総務部からのお知らせ

2016年7月31日～10月8日の間に、次の方々から当協議会(EC千葉)へご寄付いただきました。ありがとうございました。

橋本 正 様 45,000円

服部 達雄 様 2,000円

吉田 昌弘 様 8,000円

広報 環境カウンセラーちば 第49号 (発行日 2016年10月25)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (責任者：広報部長 服部達雄)

事務局：〒262-0019 千葉市花見川区朝日ヶ丘5-24-7

(Tel & Fax) 043-276-7300 (E-mail) ec_chiba_exec@yahoo.co.jp

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)